

令和2年度 第1回 介護ロボットメーカー連絡会議の開催について

1. 趣旨

日本の高齢化は、世界に例を見ない速度で進行しており、介護人材不足が大きな課題となっている。介護分野の人材を確保する一方で、限られたマンパワーを有効に活用する解決策の一つとして、高齢者の自立支援を促進し、質の高い介護を実現するためのロボット・センサー等の活用が期待されている。

現在、福祉用具・介護ロボット（以下、「介護機器」という。）の介護現場における利用は、様々な分野で、様々な主体により取り組まれており、今後さらに介護機器の活用を推進するためには、介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発、介護現場への介護機器の周知・体験機会の創出、介護機器を活用した介護技術・業務改善方法の構築等、開発・導入・普及・活用それぞれの段階で必要な取組を実施していくことが重要である。

こうした背景のもと、関係企業に対して行政の動向及び介護ロボットに関する最新の取り組み状況等について周知するとともに、企業間等の情報共有や技術連携を通じて、介護ロボット開発のための新たなイノベーションの創出につなげることを目的とした「介護ロボットメーカー連絡会議（以下「本会議」）」を開催することとする。

2. 事務局

本会議は、「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」における介護機器の普及に係る取組の一環として位置付け、当協会が行うこととする。

公益財団法人テクノエイド協会 担当：谷田、蒲生、形山、五島
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階
電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885
E-mail robocare@techno-aids.or.jp

3. 参加、呼びかけ等

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護ロボット等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
- ロボット介護機器開発・標準化事業（以前の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」を含む。）において採択され、既に商品化したロボット介護機器のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
- 介護ロボット導入支援事業等において、採用された実績のある介護ロボットメーカー
- 次世代の福祉用具・介護ロボットの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクとローテクは問わないこととする。）

※ 参加呼びかけにあたっては、これまでの参加名簿に基づくテクノエイド協会からの周知に合わせ、経済産業省及び産業技術総合研究所、日本医療研究開発機構、日本ロボット工業会、ロボット革命イニシアティブ協議会、日刊工業新聞等にも周知をお願いする。

4. 参加申し込み

新型コロナウイルス感染症を予防する観点から、本年度は、Webでの開催とする。

(参加申し込み)

参加を希望するメーカー及び関係機関等については、別添「参加申込書」に所定の事項を記載し、令和2年7月15日(水)までに、当協会あて電子メール又はファクシミリにて提出すること。但し、Webでの配信が最大300名までのため、希望多数により参加をお断りする場合がありますことをご容赦ください。

(参加費)

無料

5. 開催内容(案)

(1) 日時：令和2年7月20日(月) 13時00分～16時40分

(2) 開催方法：Web会議

※ZOOMの利用を予定。参加申し込みをいただいた方には、会議への招待アドレスを送信する。

(3) 内容：

【第1部】

(行政報告)

①ロボットに係る施策の動向 <各20分>

13:10～13:50

- ・厚生労働省老健局 高齢者支援課 介護ロボット開発・普及推進室 補佐 山田士朗
- ・経済産業省商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 係長 加藤晃治

(情報提供)

②福祉用具・介護ロボット実用化支援事業について <30分>

13:50～14:20

- 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 五島清国
- ・介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取組
開発段階における介護現場と開発企業とのマッチング支援
介護機器の開発に係る助成制度について(調査結果)
- ・介護機器の普及に係る取組
介護事業所における介護ロボット情報交換会の実施にあたって
介護ロボット活用事例集の作成にあたって
介護ロボット導入支援事業の実施状況
- ・介護ロボット全国フォーラムの開催予定

③介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム構築事業について <15分>

14:20～14:35

株式会社NTTデータ経営研究所 足立圭司 氏

④介護ロボット地域フォーラム事業について <10分>

14:35～14:45

株式会社シード・プランニング 荒川信行 氏

～ 休憩 ～

【第2部】

(取組報告)

⑤介護ロボット開発におけるリビングラボの役割 <各20分>

15:00～16:00

藤田医科大学

田辺茂雄 氏

SOMPOホールディングス

(調整中)

⑥介護ロボットの普及における地域の役割

横浜市総合リハビリテーションセンター

渡邊慎一 氏

(基調報告)

⑦介護ロボット開発・調査の最前線 <各20分>

16:00～16:40

自動運転機能とコミュニケーションの実装に挑戦

株式会社ZMP

龍 健太郎 氏

ロボット介護機器の海外動向と国際展開に向けた戦略

株式会社日本経済研究所

前田聡紀 氏

～ 閉会 ～